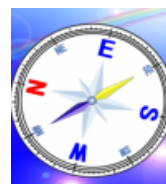




羅針盤



2012/12/18
NO. 67

〈編集・発行〉

東中3年進路指導部

《12月三者相談会 ありがとうございました》

三者懇談会では、私立・専修学校の進路決定をしました。生徒一人一人が自分で意志を確認したと思います。

図書室で願書を受け取る姿に、頼もしさを感じました。あとは、期限を守って願書を書いていきます。お忙しいと思いますが、保護者の皆様も、下書きや清書の願書に目を通してください。よろしく願います。

《将来にいきる面接講座》

先週の金曜日に面接講座を行いました。どの生徒もみんな緊張感をもち、本番を想定したあいさつ、立ち振る舞いを学びました。厳しい指導をされた人もいますが、社会に出たら常識となることです。いま、学べたことは将来に必ず役立てると思います。

今回は職業体験前の「マナー講座」とあわせて2回目でした。講師の方も「昨年と比べて、成長を感じます。」とおっしゃってくれました。自信をもって、面接に挑めそうですね。

あとは、面接で話す内容をしっかりと考えて行きましょう。面接でよく聞かれる質問は、『羅針盤 NO.54』に掲載しました。とってありますよね？参考にしましょう。



進路担当より

「願書」とは…

「願いを込めて書く」だから願書という。私が学生だった頃、こんな話を聞いたことがあります。確かに、そうだなと思います。みんなが書いた願書は担任の先生が丁寧にチェックしています。そして、間違いや不備があれば、付箋でメモをしています。そのチェックには、みんなの願いを叶えさせたいという思いがあるから、地道に行っているのです。

だから、「願書」には、受験者だけでなく、いろいろな人の願いがこもっているものなのです。

「願書」というものの重みを感じて、清書していきましょう。



《進路の豆知識⑫》

～気持ちの持ち方～

今から「でも」はじめる

→何かをはじめるのに、遅すぎると言うことは何もない「いまからじゃもう遅いな」「もっと前からやっておけばよかったな」と考えてしまうことがあります。今のみんなで言うと勉強があてはまるかもしれません。

でも、「遅い」と言うことは何を基準にしているのでしょうか。勝手に自分で思い込んでいるだけではないでしょうか。

どうしてもやらなければならないと感じたのなら、そこからスタートで良いのです。気持ちの持ち方一つで変わることはいくらでもあります。

さあ、今から「でも」はじめましょう。